

与論中学校の皆さん、こんにちは。校長の大倉です。今日は一日体験入学に参加してくれてありがとうございます。うございます。私、今年の4月に玉龍高校から赴任しましたが、与論高校はその良さを活かして上手に生活を送れば、本土のどの高校にも引けを取らない、いい高校だと日々実感しております。その辺のところをお話ししたいと思います。

別紙プリントにあるとおり、3点にまとめました。まずは本校での学びについてです。(1)にあるとおり本校では「単元シラバス」「単元テスト」に基づき学習を進めていきますので、定期考査や校内実力考査は実施しておりません。ですので、定期や実力考査前だけ一気に一夜漬けをして臨むような勉強ではなく、単元ごとにコツコツと毎日それぞれの能力に応じて授業や単元テストに臨むことになりま。授業のレベルよりもさらに高いレベルで深い学びをしたい人、逆に苦手な単元で基礎固めを徹底したい人などには、リクルートのスタデイサプリやベネッセのQ_{ES}などの学習プラットフォームを整えておりますので、安心して学習を進めることができます。難関大学進学から高校の基礎レベルの学習まで、本人のやる気さえあれば本校で学習に関する心配は一切ありません。

(2)では、せっかく小中学校時代に学んだ「ゆんぬ学」を本校の探究活動で完成させてほしいということを願います。与論だからできること、与論でしかできないことを追求していけば、いわゆるSSH(スーパーサイエンスハイスクール)がやっているレベルの探究活動は十分可能ですし、これを武器に大学の総合型入試・推薦入試にチャレンジすることも視野に入れられる訳です。でも、いくら与論出身で与論にまつわる内容を探究活動にするといっても、他の高校に進学すれば、その説得力はなくなります。どうしてわざわざ地元を出て地元に関する探究をしなければならないのかということ。です。ので、ぜひ本校に進学して皆さんにしかできない探究テーマを見つけ、オンリーワンの特徴を持つ与論高校生になってほしいのです。

(3)は高校卒業時に与論高校生に身につけてほしい人間性です。中学生にはまだピンとこないかもしれませんが、高校時代を与論で過ごさないと、これらのことは自分事として意識することが難しいのではないかと思います。感受性が豊かで、しなやかな心を持っている若い時期、特に高校時代に体験する出来事は一生の宝です。これらを基に「与論人(ゆんぬんちゆ)」としてのアイデンティティーを確立してほしいのです。

大きな2番では逆転の発想を提示しています。普通、大規模校と小規模校では、大規模校の方が何かといいとか、優れているとか考えられがちですが、必ずしもそうではありません。もちろん大人数で大きな事をする面では大規模校のメリットは大きいですが、でも、1クラス40名の教室はギチギチですし、人数が多ければいじめや喧嘩、嫌がらせ、盗難などの良くない出来事も少なくはありません。もし、今ここにいるこのメンバーが与論高校に入学したとして、そのようなことが頻繁に起こると思いますか？私にはそうは思えません。全員入ったとしても53名。1クラス26・27人です。大規模校がわざわざ苦勞してクラスを解体して小人数指導をしたりしていますが、本校ははじめから少人数です。これにさらに習熟度や選択授業などで解体しますので、授業を数人の生徒で行うことも多々あります。数人で一人の先生を独占できますので、質問はし放題で学習指導はほぼ個別指導です。学校そのものが、CMでもよく目にする「個別指導のトライ」みたいなものなのです。修学旅行も小規模校だからこそ、コンパクトな移動が可能となり、台湾へ飛び出すことができました。修学旅行については校長通信第2号を後で見てください。そして、満員で座れない電車やバスを使い、1時間や2時間かけて通学する必要もなく、自転車かバイクで数分で通学できるこの環境は間違いなく県内一の環境です。通学のストレスで心身の健康を崩し、登校できなくなる生徒が他の地域では少なくないことを覚えておいてください。それくらい、与論島は恵まれた環境なのだということです。

最後に皆さんへのメッセージです。まずは中学生のうちに「座学力」（これは一人で座って人の力を借りずに黙々と勉強できる力のことですが）この「座学力」を身につけて「脳に汗をかく」経験をしてください。

2番目は「ルーツに誇りを持つ」ということです。これは先ほど述べた「与論人（ゆんぬんちゅ）」としてのアイデンティティーの確立と共通していることですが、この（1）と（2）については校長通信第1号に詳しく書いてあるのでよく読んでおいてください。

そして最後のメッセージが「与論高校から『島だち』してほしい」ということです。皆さんは島の宝です。同時に与論の将来を担う貴重な人材でもあるのです。心身ともに急激に成長する高校3年間で与論の仲間たち（先輩・後輩）と過ごし、将来どんなことが起きてもお互い支え合える信頼関係を築いてほしいと思います。このような経験を積んだ高校生の方が、社会に出て貴重な戦力になると私は信じています。与論中学校の皆さん、来年度一緒にここで学びましょう。待っていますよ。与論高校のHPも是非見てくださいね。「校長通信」以外にも私の講話や行事などについて載せてあります。与論高校が今どんな方向に向かっていっているのが分かると思いますが是非ご覧ください。

この後、体験授業・部活動見学と続きます。もし分からないこと、質問したいことがありますら本校職員に遠慮なく聞いてください。また、本日に限らず平日も事務室を通してもらえば出入りは自由です。気兼ねなくお話に来てください。それではこのあと楽しんで帰ってくださいね。以上で私からの話を終わります。